

市外に住んでいても、安芸高田市を応援することができる「ふるさと応援寄附金」。今回、この制度をわかりやすく紹介するため、「あきさん（仮名）」を主人公に、ストーリー形式でふるさと応援寄附金の情報をまとめました。

安芸高田市出身で、現在広島市の可部に一人暮らしをしているあきさん。ある日、あきさんは、実家に帰省したとき、安芸高田に住んでいなくても地元を応援できる、「ふるさと応援寄附金」という制度があることを母から教えてもらいました。



あき、今ね、「ふるさと応援寄附金」という地元を離れても安芸高田を応援できるものがあるらしいわよ！

あきさん(仮名) プロフィール



出身：吉田町
 現住所：広島市安佐北区 可部
 年齢：30歳
 年収：300万円
 配偶者：なし（独身）
 応援しているチーム：サンフレッチェ広島、ワクナガレオリック、広島東洋カープ

ふるさと応援寄附金のことが気になったあきさんは、詳しいことが知りたいと思い、市役所に問い合わせしてみました。



ふるさと応援寄附金について知りたいのですが…



ふるさと応援寄附金担当者

お問い合わせありがとうございます。ふるさと応援寄附金とは、安芸高田市を応援していただける方から、寄附を募集し、皆様からいただいた寄附金を活用して、まちづくりを行う、というものです。寄附を申し込む際、6つの事業の中からどれに寄附をするか、選ぶことができます。寄附をすると、所得税と住民税が軽減されます。また、1万円以上の寄附をしていただいた方には、特産品セットを贈呈しています。寄附の申込は、「安芸高田市ふるさと応援寄附申出書」に必要事項をご記入いただき、ファックス、郵送、市ホームページからのメール（info@akitakata.jp）、または財政課へ直接提出のいずれかですることができます。申出書の様式は、市ホームページからダウンロードしていただくか、財政課へ直接ご請求ください。



約1週間後、財政課から公金振込をするための払込取扱票が届きました。公金振込はゆうちょ銀行のみで対応しているので、郵便局・ゆうちょ銀行窓口へ（ATMでも対応。公金振込のほかに、納付書、口座振込による支払もできます。）

振込から約2週間後、2万円寄附したあきさん宛てに、安芸高田市から特産品セットが届きました！あきさんは、今回、一心米や三矢えびす茶、手作り野菜あられなどが入った特産品Cセットを選びました。



特産品Cセット

そのほかにも、毛利公（饅頭）や神楽の里（饅頭）、ゆずみそ、毛利の竹炭などが入った特産品セットがあります（全7種類）。



毛利公 (12個入り)

毛利の竹炭たんぶら炭 (3個)

ふるさと応援寄附金をしたら、確定申告（今年は2月16日（月）～3月16日（月））に行つて税の控除を受けましょう！あきさんの場合（年収300万円、独身、2万円寄附）は、1万5,350円の控除が受けられます。



確定申告に行こう！

★申告の際には、「寄附金受領証明書」が必要になりますので、申告時まで大切に保管しておいてください。
 ★今回の控除金額は一例です。控除金額について詳しくは、最寄りの税務署または市区町村の税務担当課へお問い合わせください。

【寄附を募る6つの事業】

1. 人が輝く ふるさとづくり事業
2. 子供の笑顔があふれる ふるさとづくり事業
3. 高齢者が安心していきいきと暮らせる ふるさとづくり事業
4. 歴史と文化の香り高い ふるさとづくり事業
5. スポーツが盛んな ふるさとづくり事業
6. 市長お任せ事業



こんなことに使われてるんだ！

ふるさと応援寄附金の寄附をすると、広報紙を1年間郵送します（市外在住者のみ）。また、寄附金がどのように使われたのかをお知らせする記事を、毎年広報紙に掲載しています（平成26年度は7月号）。あきさんは、市外に住んでいながらも、安芸高田市に貢献できたことを実感します。

その後、地元の友達との女子会で、安芸高田市に貢献できて、税の控除まで受けられる「ふるさと応援寄附金」をしたことをみんなに自慢！



（3人の心の声）
 そんなにいい制度があったんだ！

ふるさと応援寄附金でこんないいことがあったんだよ！

みなさんもふるさと応援寄附金で安芸高田市を応援しましょう！
 「ふるさと応援寄附金についてのお問い合わせ」
 企画振興部財政課
 ☎ 425613
 〒 424376

インタビュー ふるさと応援寄附金制度で寄附をされている方にお話を伺いました

内藤 亨さん（58）（向原町出身）【平成25年度、26年度に寄附】
 仕事の関係で東京に引っ越して、ちょうど30年が経ちました。今は、年に4回程度向原に帰っています。一度帰ると6～7日程度滞在し、実家の掃除をしたり、お墓参りをしたり、母の行きたいところへ車で連れて行ったりしています。自分が生まれ育ったところに帰るのは当然、という思いで帰郷しています。
 まちが栄えるかどうかは、そのまちに物理的・精神的・歴史的な「中心」というか「へそ」のようなものがあるかどうか、にかかっていると思います。なので、今後の安芸高田市には、まず元気ある中心をつくり、それを周辺に波及させる仕組みづくりを行うことを期待しています。また、最近は東京から地方へ帰る人も増えているので、そういう人たちを安芸高田市に呼び込むにはどうしたらよいか、ということも考えなければいけません。故郷のことが心配なので、少しでも力になれば、という思いで寄附をしています。